事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		交通安全対策事業			②事業番号		3220		
③事業類型		8. 人件費事業		④開始年度	昭和 56 年度	⑤終了予定年度	年度	○ 設定なし	
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	○ 要綱	計画等	その他	法令等の名称：泉南市交通事故をなくす運動推進本部設置要綱		
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	その他				
⑧関連予算科目コード		款	7	項	2	目	2	細目	6
⑨担当部名		⑩担当課名			会計				
市民生活環境部		環境整備課			一般会計				

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 市民	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
市民が交通事故を起こさないように団体の事務局を当課に置いて、大阪府及び警察と連携をとって交通安全街頭啓発等をする。	① 会議の開催回数	回
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
市民が交通事故にあわないよう、街頭啓発活動や講習会等を行い注意喚起している。	① 街頭啓発活動等	回
	計算式	
	②	
	計算式	
	③	
	計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
市民に、交通安全に対する認識を持ってもらう。	政策(章)	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち
	施策大(節)	2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします
	施策中	3 交通安全の推進
	施策小	1 交通安全教育の推進

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R1目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	市民	人	63,125	62,549	61,918	—	—	
対象指標②								
活動指標①	会議の開催回数	回	1	1	1	1	1	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	街頭啓発活動等	回	6	6	6	6	6	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.29	0.29	0.29	0.29	0.29	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,329	2,329	2,351	2,351	2,351	
	直接事業費	千円	0	0	0	0	0	
	総事業費	千円	2,329	2,329	2,351	2,351	2,351	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	—
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,329	2,329	2,351	2,351	2,351	

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	交通事故の防止を図ることを目的としている。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	全国的に高齢化社会になり、交通事故に対する注意は、今以上に求められるものになると考えられる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	市民に交通安全思想を普及させている。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	市民の交通安全を目的とした事業で、市民に直結した大事な市の事業である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	全国的にも高齢者の交通事故の割合が増加しており、警察と連携して啓発活動を行う必要がある。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	市民の交通安全対策の事業なので休止・廃止はできない。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

B

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	市民の交通事故がなくなるよう、交通安全指導や啓発活動を行ない成果が上がるよう努めている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	市民1人1人に意識してもらうよう、実地講習等で成果を上げるように啓発している。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし ウ. できる ウ. できない	教育委員会に学校・学生を対象とした事業はあるが、市民対象の事業はない。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	市民のボランティア活動による協力も得ている。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	市民全体の交通安全事業なので、受益者支援になじまない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	市内の交通事故がなくなるよう少しでも貢献できる大事な事業である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 (___ 年まで)</p> <p>エ. 休止 (___ 年から)</p> <p>オ. 廃止 (___ 年から)</p>
ア	<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—